

立命館大学父母教育後援会 2014年度総会 議案

日時 2014年5月17日(土) 16:30～

場所 びわこ・くさつキャンパス プリズムホール

議題

1. 2014年度 委員・役員の選出について
2. 2013年度 事業および決算報告について
3. 2014年度 事業計画および予算案について
4. 会則の一部改正について

目 次

| | | |
|----|-----------------------|----|
| 1. | 2014年度 委員・役員の選出について | 1 |
| | 2014年度 委員一覧(案) | 2 |
| | 2014年度 大学選出役員(案) | 3 |
| 2. | 2013年度 事業および決算報告について | 4 |
| | 2013年度 収支計算書、貸借対照表 | 7 |
| | 会計監査結果報告書 | 9 |
| | 監査報告書 | 11 |
| 3. | 2014年度 事業計画および予算案について | 12 |
| | 2014年度 予算(案) | 15 |
| 4. | 会則の一部改正について | 16 |
| 巻末 | 立命館大学父母教育後援会会則 | |

1. 2014年度 委員・役員の選出について

(1) 名誉会長

2014年度立命館大学父母教育後援会名誉会長は、川口清史立命館大学長がこれをつとめる（立命館大学父母教育後援会会則第7条2項）。

(2) 会長、副会長、監事、委員、常任委員選出

2014年度総会は、会長、副会長、監事及び委員を選出し（会則第8条1号）、委員の中から常任委員を選出する（会則第8条3号）。

慣例により常任委員は和歌山県を除く近畿地域在住の委員がこれをつとめる。

2013年度第6回常任委員会は、2014年度総会へ、別紙のとおり同役員案を提出する。

(3) 大学選出副会長

2014年度大学選出副会長は、平田純一立命館大学副学長、渡辺公三立命館大学副学長がこれをつとめる。

会則は「副会長のうち2名は副学長及び専務理事をもってあてる」（会則第8条2号）と定めるが、2003年度第3回常任委員会は学園における役員の異動を考慮して大学は副学長2名を副会長にあてることとした。これを継承する。

(4) 幹事長、幹事、顧問

2014年度幹事長及び幹事は、特別会員（大学に勤務する教職員）の中から会長が委嘱する（会則第8条4号）。

2014年度顧問は、大学関係者の中から常任委員会の議を経て会長が委嘱する（会則第8条6号）。2013年度第6回常任委員会は、会長へ議案1のとおり顧問案を提出する。

* 役員の任期

- ・ 父母委員は、当年度総会から次年度総会まで1年間の任期をつとめる（再任を妨げない）（会則第10条）。卒業等によって学部学生の父母でなくなった場合は会員でなくなり（会則第3条1号）委員の任期も終了する（ただし卒業等の事由が生じた場合でも、会長は翌年の総会まで、監事は会務・会計監査を終えるまで任期を継続する（慣例による））。
- ・ 大学選出役員は大学学年暦どおり4月1日より翌年3月31日まで1年間の任期をつとめる（学園役職の異動に準じて着・退任する（慣例による））。

以上

＜ 2014年度 委員一覧 ＞

| 役職 | 都道府県 | 新任 | 委員氏名 | 学部 | 回生 | 役職 | 都道府県 | 新任 | 委員氏名 | 学部 | 回生 | |
|------|------|-----|---------|--------|----|-----|------|-------|--------|-------|----|---|
| 会長 | 京都府 | | 三好 正晃 | 産社 | 4 | 委員 | 石川県 | | 向井 信子 | 政策 | 3 | |
| 副会長 | 京都府 | | 竹内 福代 | 文 | 1 | | 石川県 | ○ | 小杉 春彦 | 経営 | 3 | |
| 監事 | 滋賀県 | | 中川 淳 | 文 | 3 | | 福井県 | ○ | 高橋 弥惣司 | 経営 | 3 | |
| | 兵庫県 | | 小西 啓子 | 情理 | 4 | | 福井県 | ○ | 稲木 隆憲 | 法 | 4 | |
| 常任委員 | 京都府 | | 堺 淳一 | 政策 | 4 | | 岐阜県 | | 堀部 建樹 | 経済 | 4 | |
| | 京都府 | ○ | 岡 英志 | 経済 | 2 | | 岐阜県 | | 岡田 弓子 | 文 | 4 | |
| | 京都府 | ○ | 樽谷 珠代 | 法 | 1 | | 静岡県 | | 三輪 滋 | 法 | 4 | |
| | 滋賀県 | ○ | 中塚 浩 | 文 | 2 | | 静岡県 | | 中村 隆夫 | 理工 | 4 | |
| | 滋賀県 | ○ | 山岡 寿美香 | 生命 | 2 | | 愛知県 | | 松浦 直美 | 文 | 3 | |
| | 大阪府 | | 中田 稔子 | 経営 | 3 | | 愛知県 | ○ | 奥山 茂 | 文 | 3 | |
| | 大阪府 | | 山口 光子 | 経営 | 3 | | 三重県 | ○ | 古橋 佳子 | 映像 | 3 | |
| | 奈良県 | | 田中 千佳江 | 経営 | 4 | | 三重県 | ○ | 山本 真実 | 法 | 2 | |
| | 奈良県 | ○ | 辻岡 敦子 | 経済 | 1 | | 和歌山県 | | 釘先 恭壽 | 理工 | 4 | |
| | 兵庫県 | ○ | 足立 敏 | 産社 | 1 | | 和歌山県 | | 竹下 徹 | 文 | 3 | |
| | 委員 | 北海道 | ○ | 今野 千佳 | 産社 | | 2 | 鳥取県 | | 赤坂 葉子 | 経営 | 4 |
| | | 北海道 | ○ | 弓野 真祐美 | 経済 | | 2 | 鳥取県 | ○ | 竹内 俊一 | 産社 | 2 |
| | | 青森県 | | 目時 秀樹 | 産社 | | 4 | 島根県 | | 角 清司 | 理工 | 3 |
| 青森県 | | | 小山 優子 | 経済 | 3 | | 島根県 | | 筑後 正博 | 経済 | 4 | |
| 岩手県 | | | 神林 峰子 | 産社 | 4 | | 岡山県 | | 森下 靖子 | 国関 | 4 | |
| 岩手県 | | ○ | 福士 進 | スポーツ | 2 | | 岡山県 | ○ | 内藤 富貴子 | 国関 | 2 | |
| 秋田県 | | | 佐藤 幸美 | 文 | 4 | | 広島県 | ○ | 岡野 久子 | 産社 | 3 | |
| 秋田県 | | ○ | 清水 幸恵 | 産社 | 2 | | 広島県 | ○ | 山口 寿子 | 経済 | 3 | |
| 山形県 | | | 石澤 浩之 | 文 | 4 | | 山口県 | | 白石 俊之 | 経営 | 3 | |
| 山形県 | | | 高橋 一彦 | 文 | 3 | | 山口県 | ○ | 樋野 美香代 | 理工 | 3 | |
| 宮城県 | | | マコーリー加代 | 法 | 4 | | 香川県 | | 葛上 さゆり | スポーツ | 4 | |
| 宮城県 | | ○ | 豊嶋 賀代 | 情理 | 3 | | 香川県 | | 眞鍋 正寿 | 法 | 3 | |
| 福島県 | | | 中島 仁 | 法 | 3 | | 徳島県 | | 土井 一代 | 法 | 4 | |
| 福島県 | | | 佐竹 陽子 | 経営 | 3 | | 徳島県 | | 阿部 英昭 | スポーツ | 3 | |
| 茨城県 | | | 渡辺 充寿 | スポーツ | 4 | | 高知県 | | 岡林 昌次 | 理工 | 3 | |
| 茨城県 | | | 飯島 由美子 | 産社 | 3 | | 高知県 | ○ | 小野 直治 | 文 | 2 | |
| 千葉県 | | ○ | 樋口 はるな | 理工 | 3 | | 愛媛県 | | 上甲 千里 | 文 | 4 | |
| 千葉県 | | ○ | 丸岡 千佳子 | 生命 | 3 | | 愛媛県 | | 鹿島 久幸 | 文 | 3 | |
| 埼玉県 | | ○ | 武生 和子 | 経済 | 4 | | 福岡県 | | 奥田 一行 | 経済 | 3 | |
| 埼玉県 | | ○ | 石山 晶子 | 国関 | 2 | | 福岡県 | ○ | 田中 克樹 | 産社 | 2 | |
| 東京都 | | | 小川 実佐枝 | 情理 | 4 | | 佐賀県 | | 小宮 清隆 | 理工 | 4 | |
| 東京都 | | | 小倉 加奈子 | 法 | 4 | | 佐賀県 | ○ | 中島 靖憲 | 政策 | 3 | |
| 神奈川県 | | | 池部 勝也 | 経営 | 4 | | 長崎県 | | 榎 一弘 | 経済 | 4 | |
| 神奈川県 | | | 毛塚 ルミ | 文 | 4 | | 長崎県 | ○ | 椿崎 仙市 | 理工 | 2 | |
| 山梨県 | | | 春日 一郎 | 法 | 3 | | 熊本県 | | 内田 誠也 | 文 | 4 | |
| 山梨県 | | ○ | 仲田 勉 | 産社 | 2 | | 熊本県 | ○ | 塩田 賢俊 | 経営 | 3 | |
| 栃木県 | | | 川添 洋 | 情理 | 3 | | 大分県 | | 秦 啓一郎 | 経済 | 4 | |
| 栃木県 | | ○ | 早坂 智子 | 産社 | 3 | | 大分県 | ○ | 山本 恵子 | 経済 | 2 | |
| 群馬県 | | | 岩田 由香里 | 国関 | 4 | | 宮崎県 | | 山脇 誠 | 経済 | 4 | |
| 群馬県 | | | 萩原 克宏 | 経済 | 4 | | 宮崎県 | | 種子田 克秀 | 法 | 3 | |
| 長野県 | | | 関島 良治 | 理工 | 3 | | 鹿児島県 | | 桐原 秀成 | 政策 | 4 | |
| 長野県 | | | 小木曾 重信 | 文 | 3 | | 鹿児島県 | | 宮本 利香 | 情理 | 3 | |
| 新潟県 | | | 澁木 尚夫 | 産社 | 4 | | 沖縄県 | | 上間 久造 | 情理 | 5 | |
| 新潟県 | | ○ | 齋藤 義樹 | 文 | 2 | 沖縄県 | | 玉城 道夫 | 文 | 4 | | |
| 富山県 | | ○ | 千石 琴美 | 情理 | 3 | | | | | | | |
| 富山県 | | ○ | 廣川 真理子 | 文 | 3 | | | | | | | |

※敬称略

98名（うち○印37名は新任）

＜ 2014年度 大学選出役員 ＞

| 役 職 | 学 園 役 職 | 新任 | 氏 名 |
|------------|---------------|-------|--------|
| 名誉会長 | 総長・学長 | | 川口 清史 |
| 副会長 | 副総長・副学長 | ○ | 平田 純一 |
| | 副総長・副学長 | | 渡辺 公三 |
| 顧 問 | 理事長 | | 長田 豊臣 |
| | 専務理事 | | 森島 朋三 |
| | 教学担当常務理事 | | 建山 和由 |
| | 学生担当常務理事 | | 國廣 敏文 |
| | 法学部長 | | 竹濱 修 |
| | 経済学部長 | | 松原 豊彦 |
| | 経営学部長 | | 池田 伸 |
| | 産業社会学部長 | | 有賀 郁敏 |
| | 国際関係学部長 | | 文 京洙 |
| | 政策科学部長 | | 重森 臣広 |
| | 映像学部長 | | 品田 隆 |
| | 文学部長 | ○ | 藤巻 正己 |
| | 理工学部長 | | 笠原 健一 |
| | 情報理工学部長 | ○ | 仲谷 善雄 |
| | 生命科学部長 | ○ | 里見 潤 |
| 薬学部長 | | 今村 信孝 | |
| スポーツ健康科学部長 | | 田畑 泉 | |
| 幹事長 | 教学部長 | | 米山 裕 |
| 幹 事 | 教学部副部長 | ○ | 萩原 啓 |
| | 学生部副部長 | | 西浦 敬信 |
| | キャリアセンター副部長 | | 小柳 滋 |
| | 図書館副館長 | | 川越 恭二 |
| | 国際部副部長 | ○ | 神子 直之 |
| | 教学部次長（衣笠担当） | | 菊池 ゆかり |
| | 教学部次長（BKC 担当） | | 東 美江 |
| | 学生部次長 | | 浅野 昭人 |
| | キャリアセンター次長 | ○ | 松原 修 |
| | 図書館次長 | | 武山 精志 |
| | 国際部部長 | | 大島 英穂 |
| | 社会連携部次長 | ○ | 廣井 徹 |

33名（○印新任8名予定）

2. 2013年度 事業報告および決算案について

1. 懇談会事業

懇談会では、大学の近況や、学生の学びや生活の様子を会員に伝え、相互の親睦を図ることを目的に実施している。2013年度実績は以下の通り。

| 懇談会事業名称 | 概要 |
|--------------------|---|
| 総会 | 2013年5月18日(土)、朱雀キャンパスにて開催。 父母委員96名、総長以下大学選出役員32名が出席。 地域ブロック懇談会では、父母教育後援会ができる学生支援について意見を出し合った。 |
| 春のオープンカレッジ | 2013年5月19日(日)、衣笠・BKCの両キャンパスにて開催。 計2,644名(衣笠1,242名、BKC1,402名)の会員が参加した。 両キャンパス併せて22企画を実施した。 |
| 都道府県 父母教育懇談会 | 2013年度は、6月1日(土)～7月14日(日)期間中の土・日に、 47都道府県49会場で開催。計3,761名の会員が参加。 2部構成で実施し、全体会では在学生や卒業生がそれぞれ就職活動体験について登壇、 グループ別になり、学生生活に関する質疑応答の時間を設けた。 |
| 委員懇談会 | 2013年11月16日(土)、衣笠・BKCの両キャンパスにて開催。 父母委員84名、総長以下大学選出役員31名が出席。 常任委員会による前期の活動、事業計画の進捗報告を行った。 |
| 秋のオープンカレッジ | 2013年11月16日(土)、衣笠・BKCの両キャンパスにて開催。 計1,091名(衣笠482名、BKC609名)の会員が参加した。 全学部において、懇談会を実施。 |
| アカデミック京都 ウォッチング | 2013年11月17日(日)衣笠キャンパス、朱雀キャンパスを起点に開催。 計435名が参加した。 京都歴史回廊協議会特選コース1コース、本学教員と今日の歴史・文化・街を訪問する コース6コース、学生ガイドと巡るコース4コースの計11コースで催行した。 |

2. 学生教育支援事業

学生教育支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援する。

(1) 正課等教育支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|-----------|--|
| 新入生教育支援事業 | 1回生におけるクラス活動の豊富化・実質化、諸年次教育の活性化を目的とした、クラス合宿に対する交通費支援、フィールドワークに対する交通委・入館料支援、講師招聘の催の謝礼・交通費支援、小集団科目における報告冊子等の作成に対する印刷費支援、1回生小集団の正課発表の場である報告会・大会等の実施等に支援した。 |
| 表彰制度支援事業 | 各学部において正課等で顕著な正課をあげた学生733名を表彰した。 |
| 成績通知表送付 | 従来年1回行っていた成績表送付を、父母が学生を見守り適切なアドバイスを行えるよう年2回の実施とし、必要経費の一部を父母教育後援会が補助した。 |

(2) 課外活動支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|-------------------|---|
| 文化・スポーツ 活動応援事業 | 学部生を対象に、試合観戦チケットの配布や、スウィングバナー等応援グッズの作成、地方で開催される全国大会等への応援バスの運行を支援した。また、学園祭においては、環境啓発関連企画等への援助を行った。 |

(3) 進路就職支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|-----------------|---|
| 就職活動支援事業 | キャリアフォーラム開催(全国11会場)、SPI模擬試験受験料補助(無料受験 5,043名)、一部補助による筆記試験対策等実施、就職活動中の学生向けに若手卒業生や内定を得ている4回生を招いての懇談会等実施、模擬面接企画充実、3回生対象に就職活動準備を促すダイレクトメール作成発送の事業を支援。また、父母向けには「親子で考えるキャリア講座VI」を作成発送した。大阪梅田キャンパスでの就職活動支援を強化するため、設備・備品等の更新にも支援した。 |
| 資格試験等 図書支援事業 | 3~4回生対象に進路・就職関係資料、全回生対象に進路に直結する国家資格をはじめ、専門職・キャリアアップのための資格、学部学科の学びの特色を活かした多彩な資格の取得を支援する資料、読書習慣を形成し、幅広い教養や「読む力」「書く力」を培う資料購入を支援した。 |

(4) 国際交流支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|---------|-----------------------------|
| 留学生支援事業 | 留学生の国民健康保険料補助として、228名に支援した。 |

(5) 奨学金支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|-----------|--|
| 会員家計急変奨学金 | 学費負担者である会員の病気、解雇、倒産等により家計が急変し修学が困難な者への学費援助として、前期・後期合わせて65名を採用した。 |
| 留学生支援奨学金 | 父母教育後援会会員を父母または保証人に持つ外国人留学生の学修の奨励を目的として、20名を採用した。 |

3. 広報・通信事業

広報・通信事業は、会報誌面の内容の充実、ホームページコンテンツの充実をはかる。

(1) 父母教育後援会だより(会報)の発刊

父母教育後援会だより「夏号」を2013年8月に、「冬号」を2013年12月に、それぞれ33,000部発刊し、父母教育後援会会員に送付した。父母がこれまで以上に読みやすく親しみのもてる誌面づくりを目指し、掲載コンテンツの見直しをおこなった。

(2) ホームページの管理・運営

父母教育後援会の各種事業や学園情報が見やすく、分かりやすいホームページにするために、見直しを行い、掲載コンテンツの充実をはかった。

(3) 立命館大学父母教育後援会「入会のしおり」の送付

父母教育後援会会員に「2013年度入会のしおり」を送付した。父母教育後援会の概要、年間を通しての事業、各種問い合わせ先等を掲載するとともに、父母教育後援会の役割説明や懇談会への積極的な参加を呼びかけた。外国人留学生に対して、「入会のしおり」の英語版を作成配布した。

(4) キャンパスカレンダーの送付

父母教育後援会作成の「キャンパスカレンダー2013」を父母教育後援会会員に送付した。このカレンダーには、学年暦や学校行事、各窓口の連絡先や窓口時間など立命館大学の基本情報を掲載し、情報の共有をはかった。

(5) 父母教育後援会オリジナルスケジュール手帳の送付

父母教育後援会作成の「2014年度オリジナルスケジュール手帳」を父母教育後援会会員に送付を予定していたが、前半期に行ったアンケートの結果、評価が低かったため常任委員会にて廃止を議決し、この資金を新規の取組に当てることとした。

4、特別事業

(1) 「アカデミック講演会」の地方開催

キャンパスから離れた地域に住む父母の皆様にも参加いただけるよう、立命館大学教員を講師に迎え、北海道と香川県にて「アカデミック講演会」を開催。アカデミック講演会 in Hokkaido (2013年10月19日) に112名、アカデミック講演会 in Kagawa (2013年10月27日) に42名、合計154名の父母が参加した。

(2) 2015年度新キャンパス開設に伴うキャンパス整備支援

2015年度の大阪茨木新キャンパス開設にともなう3キャンパス(衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪茨木キャンパス)の展開・整備に際して、学生が緑あふれるキャンパスで、ゆとりあるキャンパスライフをおくことを望み、学園に対して「キャンパスの緑化と憩いの広場の整備事業」を要望するとともに、この事業への支援として、2011年度から2015年度までの5年間で総額1億円を学園に対して寄付することを2011年度総会で決定した。2013年度においても2,000万円の寄付を立命館大学へおこなった。

(3) 「災害時基金積立金」事業

東日本大震災後、防災意識の高まりとともに、災害発生時の支援策およびその財源確保について全国の父母委員や会員から、父母教育後援会に要望があがっており、父母組織として大災害を想定した対策を構築する。現在の基金残高が約2億2,600万円であることから、年積立額を3,500万円とし、目標額(5億円)に達するまでの8年間で積立期間に設定した。2013年度決算を経て、2014年度当初に繰越金から3,500万円を積み立てる。

5、その他事業

| 事業名 | 実施内容 | |
|----------------------|--|---|
| 入学記念品の作成・贈呈 | 入学記念品として「キャンパスカレンダー」を作成し、新入生全員に贈呈した。 | |
| 卒業記念品の作成・贈呈 | 卒業記念品として、オリジナル袱紗と風呂敷を作成し、卒業生全員に贈呈した。 | |
| 父母教育後援会オリジナルグッズ作成・配付 | 「オリジナルエコバッグ」「オリジナルペン」を作成し、春のオープンカレッジ、秋のオープンカレッジ、アカデミック講演会の参加者に配付した。 | |
| 災害見舞金の周知および献呈 | 立命館大学父母教育後援会災害見舞金の制度を会員に周知するため、ダイレクトメールを送付。被災した会員から申請を受け、規程に基づき見舞金を献呈した。 | |
| 弔慰金の献呈 | 立命館大学父母教育後援会会員、および会員を父母・保証人に持つ学生の逝去に際し、立命館大学父母教育後援会から弔慰金を献呈した。 | |
| 新規事業 | 100円朝食 | 委員懇談会での父母の声を受け、立命館生活協同組合と協力し、学生負担100円で朝食を提供できるよう、生協組合員価格との差額補助を行った。当初、2014年度から実施する計画であったが、BKCで試行した結果好評であったため、2013年度12月から前倒して実施した。 |
| | 学園祭招待事業 | 秋の学園祭に父母を招待し、学生の模擬店をご利用いただける金券を配布。多くの模擬店を父母が訪れ、学生の励みになった。 |
| | 就職活動応援事業 | 就職活動に臨む学生に、本学の履歴書用紙を父母教育後援会長のメッセージを添えて送付し、激励した。 |
| | 学生生活ガイド 父母版の発行 | 立命館大学学生オフィスが新入生に配布している「キャンパスダイアリー」から、学生の相談窓口等について説明した「学生生活ガイド」部分を印刷し父母向けに送付した。 |

以上

1. 収入の部

(単位:円)

| 項目 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 執行率 (B)/(A) | 説明 |
|-------------------|--------------------|--------------------|----------------|--------------------------|
| 經常収入 | 360,330,000 | 350,731,117 | 97.3 | |
| 会費収入 | 360,000,000 | 350,285,000 | 97.3 | (年会費@10,000円、入会金@5,000円) |
| 過年度会費収入 | 0 | 0 | - | |
| 卒業生父母資料費収入 | 300,000 | 376,000 | 125.3 | 卒業生父母の会(年会費@2,000円×188名) |
| 預金利息収入 | 30,000 | 46,017 | 153.4 | 内、17,101円は基金積立口座預金利息 |
| 雑収入 | 0 | 24,100 | - | キャンパスカレンダー販売代金 |
| 前年度繰越金 | 164,552,690 | 164,552,690 | 100.0 | |
| 収入の部 合計(A) | 524,882,690 | 515,283,807 | 98.2 | |

2. 支出の部

| 項目 | 予算額 (A) | 決算額 (B) | 執行率 (B)/(A) | 説明 |
|-------------------------------|--------------------|--------------------|----------------|--------------------------------|
| I. 事業費支出 | 396,650,000 | 318,416,999 | 80.3 | |
| 1. 懇談会開催事業支出 | 86,450,000 | 74,638,953 | 86.3 | |
| 春のオープンカレッジ支出 | 10,050,000 | 9,249,458 | 92.0 | |
| 会場費支出 | 0 | 0 | - | |
| 業務委託費支出 | 3,400,000 | 3,408,234 | 100.2 | |
| 通信運搬費支出 | 4,000,000 | 3,550,847 | 88.8 | |
| 印刷費支出 | 1,500,000 | 934,841 | 62.3 | |
| 謝礼金支出 | 600,000 | 585,192 | 97.5 | |
| 旅費交通費支出 | 100,000 | 118,239 | 118.2 | |
| 雑費支出 | 450,000 | 652,105 | 144.9 | 復興支援グッズ(缶バッジ2,000個)代を含む |
| 都道府県父母懇談会支出 | 58,800,000 | 51,362,840 | 87.4 | |
| 会場費支出 | 35,000,000 | 32,137,235 | 91.8 | |
| 業務委託費支出 | 4,000,000 | 3,233,377 | 80.8 | |
| 通信運搬費支出 | 1,000,000 | 275,671 | 27.6 | |
| 印刷費支出 | 1,500,000 | 1,100,857 | 73.4 | |
| 謝礼金支出 | 1,000,000 | 452,274 | 45.2 | |
| 旅費交通費支出 | 16,000,000 | 13,931,479 | 87.1 | |
| 雑費支出 | 300,000 | 231,947 | 77.3 | |
| 秋のオープンカレッジ支出 | 10,600,000 | 9,184,218 | 86.6 | |
| 会場費支出 | 0 | 0 | - | |
| 業務委託費支出 | 4,000,000 | 4,084,224 | 102.1 | |
| 通信運搬費支出 | 3,500,000 | 2,870,344 | 82.0 | |
| 印刷費支出 | 2,000,000 | 1,668,648 | 83.4 | |
| 謝礼金支出 | 300,000 | 286,411 | 95.5 | |
| 旅費交通費支出 | 100,000 | 32,297 | 32.3 | |
| 雑費支出 | 700,000 | 242,294 | 34.6 | |
| 共通費支出 | 7,000,000 | 4,842,437 | 69.2 | |
| 2. 学生教育支援事業支出 | 207,000,000 | 160,442,273 | 77.5 | |
| 新入生教育支援支出 | 4,000,000 | 3,173,777 | 79.3 | * 教育学部 |
| 父母教育後援会表彰制度支出 | 18,000,000 | 17,150,000 | 95.3 | * 教育学部 |
| 課外活動支援支出 | 13,000,000 | 8,130,443 | 62.5 | * 学生部 |
| 就職活動支援支出 | 78,000,000 | 78,000,000 | 100.0 | * キャリアセンター |
| 資格試験等図書支援支出 | 5,000,000 | 5,000,000 | 100.0 | * 図書館 |
| 留学生支援支出 | 3,000,000 | 1,115,000 | 37.2 | * 国際部(国民健康保険料補助) |
| 会員家計急変奨学金支出 | 80,000,000 | 39,944,650 | 49.9 | * 社会連携部 |
| 留学生奨学金支出 | 5,000,000 | 5,000,000 | 100.0 | * 社会連携部 |
| 学生教育支援事業 事務費支出 | 1,000,000 | 528,403 | 52.8 | 表彰状・証書フォルダー等 |
| その他 | 0 | 2,400,000 | - | * 教育学部(成績表送付) |
| 3. 会報・学園案内広報事業支出 | 27,200,000 | 22,719,969 | 83.5 | |
| 会報発行費支出 | 22,000,000 | 16,386,269 | 74.5 | |
| ホームページ運営費支出 | 5,000,000 | 6,310,785 | 126.2 | |
| 謝礼金支出 | 100,000 | 8,000 | 8.0 | |
| 雑費支出 | 100,000 | 14,915 | 14.9 | |
| 4. その他事業支出 | 76,000,000 | 60,615,804 | 79.8 | |
| 入学記念品作成費支出 | 900,000 | 819,031 | 91.0 | |
| 在校生記念品作成費支出 | 3,300,000 | 2,912,112 | 88.2 | 2013年度未納品、未払い |
| 特別会員記念品作成費支出 | 300,000 | 273,010 | 91.0 | 配布対象外への販売代金はその他雑収入に計上(23,600円) |
| 卒業記念品作成費支出 | 27,000,000 | 24,883,442 | 92.2 | |
| 特別事業アカデミック講演会 | 6,000,000 | 2,140,230 | 35.7 | |
| キャンパス整備支援事業 | 20,000,000 | 20,000,000 | 100.0 | * 学園寄付 |
| 災害見舞金支出 | 1,000,000 | 700,000 | 70.0 | |
| 弔慰金支出 | 2,500,000 | 1,850,000 | 74.0 | 会員弔慰金 |
| 父母会員記念品作成費支出 | 15,000,000 | 0 | 0.0 | |
| その他(新規事業等) | 0 | 7,037,979 | - | |
| 100円朝定食補助費 | | 2,440,365 | | |
| 100円朝定食広報等 | | 305,031 | | |
| 内:学園祭模擬店換金 | | 408,900 | | |
| 訳:災害見舞金周知 | | 2,480,742 | | |
| 就職活動応援費 | | 296,115 | | |
| 学生生活ガイド父母版 | | 1,106,826 | | |
| II. 管理費支出 | 38,700,000 | 28,643,103 | 74.0 | |
| 会議費支出 | 12,000,000 | 8,763,182 | 73.0 | 総会議案書作成費、委員交通費、委員会会場代等 |
| 事務費支出 | 3,200,000 | 2,699,969 | 84.4 | |
| 人件費支出 | 23,500,000 | 17,179,952 | 73.1 | |
| III. 予備費支出 | 35,000,000 | 0 | 0.0 | |
| IV. 父母教育後援会基金積立金繰入支出 | 35,000,000 | 17,101 | - | 基金積立口座預金利息を基金へ繰入 |
| 当期支出合計(I+II+III+IV)(B) | 505,350,000 | 347,077,203 | 68.7 | |
| 次年度繰越金(A)-(B)-(C) | 19,532,690 | 168,206,604 | | |

貸借対照表

2014年3月31日現在

立命館大学父母教育後援会

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | | |
|---------------|-------------|-------------|-----------------|
| 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 0 | | |
| 預 金 | 294,099,562 | | |
| 立命館大学 預け金 | | 129,312,213 | |
| 京都中央信用金庫 普通預金 | | 14,453,692 | |
| みずほ銀行 普通預金 | | 150,333,057 | |
| 郵便振替口座 | | 600 | |
| 基金積立預金 | 226,409,009 | | |
| 京都中央信用金庫 普通預金 | | 226,409,009 | |
| 流動財産合計 | | 520,508,571 | |
| 2. 固定資産 | | | |
| 投資有価証券 | 0 | | |
| 学園債 | | 0 | |
| 固定資産合計 | | 0 | |
| 資産合計 | | | 520,508,571 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 125,892,958 | | |
| 未払金 | | 7,526,758 | |
| 前受け金 | | 118,291,200 | |
| 預り金 | | 0 | |
| 会費預り金 | | 75,000 | |
| 負債合計 | | | 125,892,958 |
| 正味財産の部 | | | |
| 正味財産 | | | 394,615,613 |
| (うち基金積立預金) | | | (226,409,009) |
| (うち当期正味財産増加額) | | | (3,671,015) |
| 負債および正味財産合計 | | | 520,508,571 |

会計監査結果報告書

平成26年4月17日

立命館大学父母教育後援会

会長 三好 正晃 殿

マネックス合同会計

税理士 岡村 博



当職は、立命館大学父母教育後援会（以下、「後援会」という。）から立命館大学父母教育後援会会則施行細則9条の規定に基づく依頼を受け、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度計算書類、すなわち、収支計算書及び貸借対照表の各勘定残高に関連した項目につき立命館大学二条キャンパスにおいて会計監査を実施した。

監査した範囲

平成25年度計算書類、すなわち、収支計算書及び貸借対照表の各勘定残高を対象とした会計帳簿、請求書及び領収書等の証憑につき以下の内容。

1. 平成26年3月31日現在の計算書類と総勘定元帳の勘定の残高を突合した。
2. 平成26年3月31日現在のすべての預金残高と残高確認書の残高を突合した。
3. 平成25年4月1日から平成26年3月31日までの会費収入について、証憑と突合し、入金の実事を確認した。
4. 平成25年4月1日から平成26年3月31日までの支出項目のうち、200,000円以上の取引について、証憑と突合した。
5. 平成25年度収支計算書項目について平成25年度予算と大きく乖離している項目について、担当者に質問を実施し乖離している理由を確認した。

監査実施結果

上記手続を実施した結果は、以下のとおりである。

- (1) 上記1の事項については、計算書類と総勘定元帳の残高は、一致した。
- (2) 上記2の事項については、すべての預金の帳簿残高と残高確認書の金額は、一致した。
- (3) 上記3の事項については、会費収入について、基礎となる証憑と金額及び計上時期が一致し、かつ、入金の実事と一致した。
- (4) 上記4の事項については、担当者に質問を実施し、内容の確認を行った。
- (5) 上記5の事項については、予算と比較して大きく乖離している項目について、担当者に質問を実施し、乖離理由の回答を得て確認した。

監査における特筆事項

上記手続は、財務諸表に対する一般に公正妥当と認められる会計基準に準拠しておこなったものである。

なお、この報告書は立命館大学父母教育後援会会則施行細則9条の規定に基づく依頼により作成されたものであり、他のいかなる目的にも使用してはならず、後援会会員以外への配付もしてはならない。

上記手続により平成25年度財務諸表すなわち収支計算書及び貸借対照表はいずれも適正に作成されており、公正妥当と認めるものである。

以 上

監 査 報 告 書

2013年度立命館大学父母教育後援会事業報告、収支計算書ならびに関係証憑を監査し、会務及び会計はいずれも適正であることを認める。

平成26年4月30日

立命館大学父母教育後援会

監事 馬場 浩 

監事 小林 浩子 

3. 2014年度 事業計画および予算案について

父母教育後援会事業は、以下を基本的な考えとし、2014年度事業の詳細は1～4のとおりとする。

<父母教育後援会事業に関する基本的な考え方>

- ① 懇談会事業は、これまで以上に父母のニーズに応えられる企画を検討し、その充実を図る。
- ② 学生支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援する。
- ③ 広報・通信事業は、会報誌面の充実、HPコンテンツの充実を図る。
- ④ 特別事業は、基本的に2013年度事業を踏襲する。また、「災害時基金積立金」は2020年までの8年間継続する。

1. 懇談会事業

2014年度は、従来の事業を再編し、「総会・委員懇談会」「春のオープンカレッジ～関西地区父母教育懇談会～」、「都道府県父母教育懇談会」、「秋のオープンカレッジ（学園祭招待）・委員懇談会」として実施する。「アカデミック京都ウォッチング」は2013年度を踏襲する。

| 懇談会事業名称 | 概要（計画） |
|--|---|
| 総会 委員懇談会 | 2014年5月17日（土）びわこ・くさつキャンパスにて開催。 2014年度の父母教育後援会の事業、あり方等について意見交換を行う。都道府県父母教育懇談会に向けた父母委員向けガイダンスも合わせて実施する。 |
| 春のオープンカレッジ ～関西地区 父母教育懇談会～ 〔全会員対象〕 | 2014年6月14日（土） 関西地区（京都・滋賀・大阪・兵庫・奈良）の都道府県懇談会を春のオープンカレッジとして各キャンパスにて実施する。実施内容については、前年度春のオープンカレッジを基本踏襲するが、前年度秋に実施した「学部別懇談会」は、本企画の午後の部として実施する。 |
| 都道府県 父母教育懇談会 〔全会員対象〕 | 2014年5月31日（土）～7月13日（日） 期間中の土・日 全国43会場で実施。学生の学びや学生生活全般について全体会で説明し、グループ別懇談会では本学教職員が参加者とともに懇談する。 |
| 秋のオープンカレッジ 〔全会員対象〕 | 2014年11月1日（土）2日（日） びわこ・くさつキャンパスにて開催。 2014年11月8日（土）9日（日） 衣笠キャンパスにて開催。 学生生活の様子を感じられる学園祭に、会員を招待する。 |
| 委員懇談会 | 2014年11月8日（土） 衣笠キャンパスにて開催。 衣笠の学園祭に併せて、父母委員と大学選出役員が一同に会し、委員懇談会を開催する。 |
| アカデミック京都 ウォッチング 〔全会員対象〕 | 2014年11月16日（日） 京都や滋賀の歴史や文化について詳しい本学教員による講義を実施。その後、フィールドワークを実施。本学教員または京都学生ガイド協会に所属する本学学生がガイドを務め京都や滋賀の街を案内する。 |

2. 学生教育支援事業

学生教育支援事業は、学生が平等かつ公平に支援が受けられる事業に支援する。

（1）正課等教育支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|------------|-------------------------------------|
| 新入生教育支援事業 | 初年次の小集団教育科目となる基礎演習を単位とするクラス活動に対する補助 |
| 在学学生教育支援事業 | 博物館・美術館キャンパスメンバーズ加盟費支援 |
| | 在学学生成績通知表の父母への送付経費一部補助 |
| 表彰制度支援事業 | 主として正課にかかわる分野において、優れた成果を収めた取組を表彰 |

(2) 課外活動支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|---------------|---|
| 文化・スポーツ活動応援事業 | 全学の文化・スポーツ応援活動支援、応援グッズ作成補助、学術・文化・芸術活動鑑賞・参加企画援助、課外自主活動情報発信のための広報媒体、コンテンツの開発・作成援助 |

(3) 進路就職支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|-------------|---|
| 就職活動支援事業 | キャリアフォーラム開催などU-Iターン就職支援、SPI等模擬試験受験料補助、「親子で考えるキャリア講座」制作・配布支援、スチューデント・ネットワークによる支援企画実施支援、各種就職活動ガイドブックの制作・配布支援、面接対策支援、グローバル企業・難関分野への就職支援、オリジナル履歴書制作と就職活動学生への無償配布の支援 |
| 資格試験等図書支援事業 | 進路・就職関連資料、資格取得支援資料、読む力を育成し幅広い教養を身につける資料提供への支援 |

(4) 国際交流支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|---------|--------------------------------------|
| 留学生支援事業 | 父母教育後援会会員が保証人である外国人留学生の国民健康保険料に対する補助 |

(5) 奨学金支援

| 支援事業 | 実施内容 |
|-----------|---|
| 会員家計急変奨学金 | 学費負担者である会員の病気、解雇、倒産等により家計が急変し修学が困難な者への学費援助を目的とした奨学金制度 |
| 留学生支援奨学金 | 父母教育後援会会員を父母または保証人に持つ外国人留学生の学修の奨励を目的とした奨学金制度 |

3. 広報・通信事業

広報・通信事業は、会報誌面の内容の充実、ホームページコンテンツの充実をはかる。

(1) 父母教育後援会だより（会報）の発刊

父母教育後援会だより「春号」（2014年4月）、「夏号」（2014年8月）、「冬号」（2014年12月）を、それぞれ33,000部発刊し、父母教育後援会会員に送付する。父母にとって読みやすく親しみのもてる誌面づくりを目指す。

(2) ホームページの管理・運営

父母教育後援会の各種事業や学園情報が見やすく、分かりやすくなるよう、2014年4月にホームページを刷新。掲載コンテンツの充実をはかり、会報とも連動してタイムリーに更新を行う。

(3) 「立命館大学父母教育後援会 しおり」の送付

父母教育後援会会員に「2014年度立命館大学父母教育後援会 しおり」を送付する。父母教育後援会の概要、年間を通しての事業、各種問い合わせ先等を掲載するとともに、父母教育後援会の役割説明や懇談会への積極的な参加を呼びかける。また、外国人留学生に対して英語版を作成し配布する。

(4) 「2014年度懇談会事業のご案内」送付

2014年度は懇談会事業の再編を行ったので、年度当初に「2014年度懇談会事業のご案内」を作成・送付した。

(5) キャンパスカレンダーの送付

父母教育後援会作成の「キャンパスカレンダー2014」を父母教育後援会会員に送付する。このカレンダーには、学年暦や学校行事、各窓口の連絡先や窓口時間など立命館大学の基本情報を掲載し、父母と情報の共有をはかる。

(6) 学生生活ガイド父母版の送付

学生オフィスが新入生と2回生に配布している「キャンパスダイアリー」から、学生の学修や生活上の相談窓口等を纏めた「学生生活ガイド」部分を印刷し送付する。

4. 特別事業

特別事業は、2013年度特別事業を基本的には踏襲する。

(1) 「アカデミック講演会」の地方開催

キャンパスから離れた地域に住む父母の皆様にも参加いただけるよう2014年度は石川県と岡山県で「アカデミック講演会」を開催する。

- ・アカデミック講演会 in Ishikawa (2014年7月6日) 都道府県父母教育懇談会 石川会場にて開催
- ・アカデミック講演会 in Okayama (2014年10月25日) 「オール立命館校友大会 2014 in 岡山」と共催

(2) 2015年度新キャンパス開設に伴うキャンパス整備支援

2015年度の大阪茨木新キャンパス開設にともなう3キャンパス(衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪茨木キャンパス)の展開・整備に際して、学生が緑あふれるキャンパスで、ゆとりあるキャンパスライフをおくることを望み、学園に対して「キャンパスの緑化と憩いの広場の整備事業」を要望するとともに、この事業への支援として、2011年度から2015年度までの5年間で総額1億円を学園に対して寄付することを2011年度総会で決定した。2013年度においても2,000万円の寄付を立命館大学へおこなう。

(3) 「災害時基金積立金」事業

東日本大震災後、防災意識の高まりとともに、災害発生時の支援策およびその財源確保について全国の父母委員や会員から、父母教育後援会に要望があがっており、父母組織として大災害を想定した対策を構築する。現在の基金残高が約2億2,600万円であることから、年積立額を3,500万円とし、目標額(5億円)に達するまでの8年間を積立期間に設定する。当年度決算を経て、次年度繰越金から積立を行う。

(4) BKC 20周年記念事業

びわこ・くさつキャンパス開設20周年にあたり、記念事業を実施する。前年度繰越金から5,000万円をこれに充てる。

5. その他

(1) 100円朝定食

立命館生活協同組合と協力し、開講期間中、生協食堂にて100円朝定食を提供するための補助を行う。

(2) 入学記念品の作成・贈呈

入学記念品として「キャンパスカレンダー」を作成し、新入生全員に贈呈する。

(3) 卒業記念品の作成・贈呈

卒業記念品を作成し、卒業生全員に贈呈する。

(4) 災害見舞金

自然災害等により被災した会員に対し、「立命館大学父母教育後援会災害見舞金規程」に基づき見舞金を献呈する。

(5) 弔慰金の献呈

立命館大学父母教育後援会会員および会員を父母・保証人に持つ学生が死亡した場合、立命館大学父母教育後援会弔慰金を献呈する。

以上

2014年度 立命館大学父母教育後援会 予算(案)

(単位:円)

1. 収入の部

| 項目 | 2013年度 決算額 | 2014年度 予算額 | 説明 |
|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|
| 経常収入 | 350,731,117 | 361,006,200 | |
| 会費収入 | 350,285,000 | 360,330,000 | (年会費@10,000円、入会金@5,000円) |
| 過年度会費収入 | 0 | 346,200 | |
| 卒業生父母資料費収入 | 376,000 | 300,000 | 卒業生父母の会(年会費@2,000円×150名) |
| 預金利息収入 | 46,017 | 30,000 | |
| 雑収入 | 24,100 | 0 | |
| 前年度繰越金 | 164,552,690 | 168,206,604 | |
| 収入の部 合計(A) | 515,283,807 | 529,212,804 | |

2. 支出の部

| 項目 | 2013年度 決算額 | 2014年度 予算額 | 説明 |
|---------------------------------|--------------------|--------------------|--|
| I. 事業費支出 | 318,416,999 | 373,830,000 | |
| 1. 懇談会開催事業支出 | 74,638,953 | 56,800,000 | |
| 春のオープンカレッジ・関西父母懇談会支出 | 9,249,458 | 5,200,000 | 近畿2府3県の都道府県懇談会と、秋の学部別懇談会を統合 キャンパス実施につき不要 |
| 会場費支出 | 0 | 0 | |
| 業務委託費支出 | 3,408,234 | 3,000,000 | |
| 通信運搬費支出 | 3,550,847 | 0 | 会報番号に同封 |
| 印刷費支出 | 934,841 | 1,000,000 | |
| 謝礼金支出 | 585,192 | 600,000 | |
| 旅費交通費支出 | 118,239 | 150,000 | |
| 雑費支出 | 652,105 | 450,000 | |
| 都道府県父母懇談会支出 | 51,362,840 | 44,900,000 | 近畿2府3県は「春のオープンカレッジ～関西地区父母教育懇談会」へ統合 |
| 会場費支出 | 32,137,235 | 25,000,000 | |
| 業務委託費支出 | 3,233,377 | 3,000,000 | 派遣スタッフ人件費、会場設営・解体、資材、輸送費ほか |
| 通信運搬費支出 | 275,671 | 300,000 | |
| 印刷費支出 | 1,100,857 | 850,000 | |
| 謝礼金支出 | 452,274 | 500,000 | |
| 旅費交通費支出 | 13,931,479 | 15,000,000 | |
| 雑費支出 | 231,947 | 250,000 | |
| 秋のオープンカレッジ・委員懇談会支出 | 9,184,218 | 2,200,000 | 学部別懇談会は「春のオープンカレッジ～関西地区父母教育懇談会」へ統合 キャンパス実施につき不要 |
| 会場費支出 | 0 | 0 | |
| 業務委託費支出 | 4,084,224 | 1,000,000 | |
| 通信運搬費支出 | 2,870,344 | 0 | 会報番号に同封 |
| 印刷費支出 | 1,668,648 | 1,000,000 | 招待チケット等 |
| 謝礼金支出 | 286,411 | 0 | |
| 旅費交通費支出 | 32,297 | 0 | |
| 雑費支出 | 242,294 | 200,000 | |
| 共通費支出 | 4,842,437 | 4,500,000 | |
| 2. 学生教育支援事業支出 | 160,442,273 | 149,500,000 | |
| 新入生教育支援支出 | 3,173,777 | 4,000,000 | * 教学部 |
| 成績表送付費支援支出 | 2,400,000 | 2,500,000 | * 教学部 |
| 父母教育後援会表彰制度支出 | 17,150,000 | 18,000,000 | * 教学部 |
| 課外活動支援支出 | 8,130,443 | 13,000,000 | * 学生部 |
| 就職活動支援支出 | 78,000,000 | 58,000,000 | * キャリアセンター(大阪キャンパス整備支援20,000千円は2013単年度事業) |
| 資格試験等図書支援支出 | 5,000,000 | 5,000,000 | * 図書館 |
| 留学生支援支出 | 1,115,000 | 3,000,000 | * 国際部(国民健康保険料補助) |
| 会員家計急変奨学金支出 | 39,944,650 | 40,000,000 | * 社会連携部 |
| 留学生奨学金支出 | 5,000,000 | 5,000,000 | * 社会連携部 |
| 学生教育支援事業 事務費支出 | 528,403 | 1,000,000 | |
| その他 | 0 | 0 | |
| 3. 会報・学園案内広報事業支出 | 22,719,969 | 24,200,000 | |
| 会報発行費支出 | 16,386,269 | 20,000,000 | 2014年度業者変更により経費削減、発行を年4回へ |
| ホームページ運営費支出 | 6,310,785 | 4,000,000 | 2014年度リニューアル費用を含む |
| 謝礼金支出 | 8,000 | 100,000 | 取材協力学生謝礼 |
| 雑費支出 | 14,915 | 100,000 | 取材協力学生交通費等 |
| 4. その他事業支出 | 60,615,804 | 143,330,000 | |
| 入学記念品作成費支出 | 819,031 | 1,000,000 | 新入生用キャンパスカレンダー |
| 会員・特別会員記念品作成費支出 | 3,185,122 | 3,200,000 | 会員・特別会員配布用キャンパスカレンダー |
| 卒業記念品作成費支出 | 24,883,442 | 25,000,000 | 2013年度より単価1,000円から3,000円に変更 |
| 特別事業アカデミック講演会 | 2,140,230 | 1,500,000 | 2014石川会場:父母懇と同日開催、岡山会場:校友会共催 |
| キャンパス整備支援事業 | 20,000,000 | 20,000,000 | * 学園寄付(2011～2015年度まで5箇年計画の内4年目) |
| BKC20周年記念事業 | - | 50,000,000 | * 学園寄付(2013年度繰越金から執行・単年度事業) |
| 災害見舞金支出 | 700,000 | 0 | (規程により予備費の範囲内とする。) |
| 弔慰金支出 | 1,850,000 | 2,000,000 | 会員弔慰金 |
| 100円朝定食事業 | 0 | 25,630,000 | 100円朝定食補助費、広報等関連経費 |
| 新規事業計画費 | 7,037,979 | 15,000,000 | オリジナル手帳廃止による新規事業予算 |
| 2 100円朝定食補助費 | 2,440,365 | | |
| 0 100円朝定食広報等 | 305,031 | | |
| 1 学園祭模擬店換金 | 408,900 | | |
| 3 災害見舞金周知 | 2,480,742 | | |
| 内 就職活動応援費 | 296,115 | | |
| 訳 学生生活ガイド父母版 | 1,106,826 | | |
| II. 管理費支出 | 28,643,103 | 36,500,000 | |
| 会議費支出 | 8,763,182 | 10,000,000 | 総会議案書作成費、委員交通費、常任委員会会場代等 |
| 事務費支出 | 2,699,969 | 3,000,000 | |
| 人件費支出 | 17,179,952 | 23,500,000 | |
| III. 予備費支出 | 0 | 83,882,804 | 災害見舞金を含む |
| IV. 父母教育後援会基金積立金繰入支出 | 17,101 | 35,000,000 | 2013年度繰越金から基金積立へ |
| 当期支出合計(I+II+III+IV+V)(B) | 347,077,203 | 529,212,804 | |
| 次年度繰越金(A)-(B) | 168,206,604 | 0 | |

4. 会則の一部改正について

役員の選出において、総会で決定することは会則で規定されているが、その選出方法については明確な定めがないため、第8条に第4号を追加しこれを定める。

【現 行】

第8条 役員は、次の方法によって選出する。

- (1) 会長、副会長、監事及び委員は、総会において正会員の中から選出する。
- (2) 前号の規程にかかわらず、副会長のうち2名は副学長及び専務理事をもってあてる。
- (3) 常任委員は、総会において委員の中から選出する。
- (4) 幹事長及び幹事は、特別会員の中から会長が委嘱する。
- (5) 相談役は、本会のために特に功労のあった者につき、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。
- (6) 顧問は、大学関係者の中から、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。

【改正案】

第8条 役員は、次の方法によって選出する。

- (1) 会長、副会長、監事及び委員は、総会において正会員の中から選出する。
- (2) 前号の規程にかかわらず、副会長のうち2名は副学長及び専務理事をもってあてる。
- (3) 常任委員は、総会において委員の中から選出する。
- (4) 会長は、役員の選出にあたり、幹事長等と協議して候補者を推薦することができる。
- (5) 幹事長及び幹事は、特別会員の中から会長が委嘱する。
- (6) 相談役は、本会のために特に功労のあった者につき、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。
- (7) 顧問は、大学関係者の中から、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。

立命館大学父母教育後援会会則（改正案）

■名称および所在

第1条 本会は、立命館大学父母教育後援会と称し、本部を立命館大学内に置く。

■目的

第2条 本会は、立命館大学（以下「大学」という）の教育方針に則り、大学と大学学部在籍する学生の父母又はこれに準ずる者（以下「学生の父母」という）との連絡を密にし、教育事業を援助し、併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■会員の資格

第3条 本会は、次の会員をもって組織する。

- (1) 正会員 学部学生の父母
- (2) 特別会員 大学に勤務する教職員
- (3) 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、これに援助を与える者
- (4) 卒業生父母の会員 学部卒業生の父母

■事業

第4条 本会は、その目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 父母教育懇談会の開催
- (2) 就職説明懇談会の開催
- (3) 機関紙の刊行
- (4) 学生の教育、厚生等に必要なる事業に対する援助
- (5) 大学の教育、研究に対する援助
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■総会

第5条 本会に、総会を置く。総会は、定期総会と臨時総会とする。

- 2 定期総会は、毎年1回開催し、臨時総会は、常任委員会の議を経て随時開催する。
- 3 総会は会長、副会長、監事、常任委員、委員及び幹事長をもって構成し、会長が議長となる。
- 4 総会の議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 5 総会は、次の事項を決定する。
 - (1) 会長、副会長、監事、常任委員及び委員の選出
 - (2) 会則の改正
 - (3) 事業計画及び予算、決算
 - (4) その他重要事項

■役員

第6条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 3～5名
- (3) 監事 2名
- (4) 常任委員 若干名
- (5) 委員 会員の在籍する各都道府県あたり1名以上
- (6) 幹事長 1名
- (7) 幹事 若干名
- (8) 相談役 若干名
- (9) 顧問 若干名

■名誉会長

第7条 本会に、名誉会長を置く。

- 2 名誉会長は大学長をもってあてる。
- 3 名誉会長は、常任委員会に出席して意見を述べることができる。

■役員を選出

第8条 役員は、次の方法によって選出する。

- (1) 会長、副会長、監事及び委員は、総会において正会員の中から選出する。
- (2) 前号の規程にかかわらず、副会長のうち2名は副学長及び専務理事をもってあてる。
- (3) 常任委員は、総会において委員の中から選出する。
- (4) 会長は、役員を選出にあたり、幹事長等と協議して候補者を推薦することができる。
- (5) 幹事長及び幹事は、特別会員の中から会長が委嘱する。
- (6) 相談役は、本会のために特に功労のあった者につき、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。
- (7) 顧問は、大学関係者の中から、常任委員会の議を経て会長が委嘱す

る。

■役員職務権限

第9条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- 3 監事は、本会の会務および会計を監査する。
- 4 委員は各県での懇談会等を通じて会員の意見をまとめ総会に報告することができる。
- 5 幹事長は、会務を執行し、幹事は、これを補佐する。
- 6 相談役は、会長の諮問に応じ、常任委員会に出席して意見を述べることができる。
- 7 顧問は、常任委員会の諮問に応じ、常任委員会に出席して意見を述べることができる。

■役員任期

第10条 役員任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

■委員会

第11条 (削除)

■常任委員会

第12条 本会に、常任委員会を置く。

- 2 常任委員会は、会長、副会長、監事、常任委員及び幹事長をもって構成し、会長が議長となる。
- 3 常任委員会は、原則として年2回以上開催し、その議事は、出席者の過半数をもって決定する。
- 4 常任委員会は、次の事項を審議し、本会の運営を担当する。
 - (1) 事業計画案及び、予算並びに決算書の作成
 - (2) 事業計画の実施
 - (3) 施行細則、規程等の制定及び改正
 - (4) 相談役及び顧問の推薦
 - (5) その他の会務の執行に関する事項

■事務局

第13条 本会に、本部事務局を置き、社会連携部長もしくは次長がこれを統括する。

- 2 事務局は校友・父母課長がこれを担う。

第14条 本会に、支部を置くことができる。支部に関する事項は、別に定める。

■会計年度

第15条 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

■運営資金

第16条 本会の運営は、入会金、会費、寄附金及びその他の収入による。

- 2 入会金及び会費の額、並びにその納入方法は、次のとおりとする。
 - (1) 正会員の入会金は、5,000円とする。
 - (2) 正会員の会費は、年額10,000円とする。
 - (3) 賛助会員は、年額1口30,000円以上とし、本会に納入する。
 - (4) 卒業生父母の会員の会費は、年額2,000円とする。
 - (5) 正会員の入会金及び会費は、毎学年度の始めに納入しなければならない。
 - (6) 会費等の徴収は、大学に委託して行う。

■会則の改正

第17条 この会則は、常任委員会の議を経て総会の決議により改正することができる。

■細則等の制定

第18条 この会則の施行に伴う細則、その他の規程は、常任委員会において定める。

附則 この規程は、1992年5月24日から施行する。

附則 (2003年5月24日 総会規程の変更に伴う改正)

この規程は、2003年5月24日から施行する。

附則 (2006年5月20日 事務局規程の変更に伴う改正)

この規程は、2006年5月20日から施行する。

附則 (2009年5月16日 機構改編による部課名の変更にともなう改正)

この規程は、2009年5月16日から施行する。

附則 (2013年5月18日 卒業生父母の会員追加にともなう改正)

この規程は、2013年5月18日から施行する。

附則 (2014年5月17日 役員選出方法の追加に伴う改正)

この規程は、2014年5月17日から施行する。

立命館大学父母教育後援会事務局（校友・父母課）

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

TEL：075-813-8261 FAX：075-813-8262

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・大学の休業期間を除く）

E-mail：fubo@st.ritsume.ac.jp

URL：http://www.ritsume-fubo.com/